

令和3年度の森林環境譲与税の用途について

1 森林環境譲与税の活用効果

(1) 森林所有者への意向調査の実施

・町内の私有林人工林の森林所有者に対して、今後の森林経営管理の意向調査を実施し、町による管理を希望する所有者と管理契約を締結し、森林整備施業を町の実施で育成した地域の担い手に委託した。

(2) 作業道開設による森林整備への支援

・作業道が整備されておらず、他の補助事業では対象とならない森林において、木材の搬出を目的とする作業道の整備を支援した。

(3) 林道作業路の維持管理の実施

・林道や林業作業道などの維持管理及び修繕を実施した。

2 森林環境譲与税の用途の内容

(1) 歳入

単位：千円

区分	金額
森林環境譲与税	14,092
計	14,092

(2) 歳出（用途内訳）

事業名	事業費 単位：千円			事業内容	事業実績
	総額	財源内訳			
		R3森林環境譲与税	他の財源		
持続可能な林業推進事業	5,020	2,480	2,540	優先して森林整備を進めるエリアの土地所有者及び相続人の調査を行い、森林整備の意向調査を実施	意向調査対象面積：67.7ha（77筆、38名義）
間伐・作業路開設事業	11,230	7,047	4,183	搬出間伐のための森林作業道を整備する場合に補助事業として定額支援（2,000円/m上限）	森林作業道の開設延長：4,669m
山地・作業路整備事業	2,365	2,365	0	開設済みの林道及び作業道を常時通行できるように維持修繕を実施	林道・作業道の改良・修繕等：55km
持続可能な林業推進事業	3,000	2,200	800	町内山林で自立自営できる自伐型の林業による森林整備を行うため、町民向けの研修や林業の担い手の実践研修を実施	町民研修2回、延べ16名 担い手研修8回、延べ88名
計	21,615	14,092	7,523		